



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2297号

事務所 静岡県三島市泉町9-8  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210  
会長 平出 利之 幹事 赤池 克斗



広重版画より 三島 朝霧

## 第2368回例会

2023.10.26晴

於:箱根の里

### 司会

小塚英樹君

### ロ-タリーソング

「日も風も星も」  
指揮 遠藤真道君

### 会長挨拶

副会長 鈴木正二君

10月14~15日にアクティシティ浜松で地区大会が開催され、14日は平出会長と赤池幹事が参加し、15日はさらに次年度会長・幹事とガバナー表彰で在籍50年表彰の室伏さん、90才の正会員表彰の関本文彦さんはじめ12名が参加し楽しい1日を過ごしました。地区内登録者数1,449名、地区外や米山奨学生、各種学友を含め総勢1,658名の規模でした。中村皇積ガバナーはワイヤレスマイクを身に着け、スティーブジョブスのプレゼンを彷彿とさせる八面六臂の活躍でした。大会プログラムもウエルカムミュージックの高校の吹奏楽部・ピアノ演奏で始まり、国内他地区や国外地区参加者紹介、学友のパネルディスカッション、各種表彰等盛りだくさんでした。壇上には来賓者席等はなく入れ代わり立ち代わりで進み、後半かなり端折りましたが45分位押しました。大懇親会と称したパーティは巨大な展示イベントホールで行われ、ゆったりとして飲み物食べ物十分で楽しめました。中村皇積ガバナーの個性と浜松人・浜松経済の力が集結した大会の感があり力をいただいた気がします。



### 出席報告

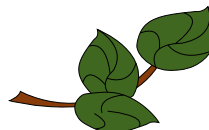
	出席総数	出席率	メ-ック	出席率
前々回	32/50	64.00%	42/50	84.00%
今回	37/46	80.43%	会員総数	53名

欠席者 秋元君、芦川君、木村君、栗原(康)君、清水君、杉崎君、須田君、諏訪部君、千葉君、南木君、前田(博)君、前田(房)君

### 幹事報告

幹事 赤池克斗君

- ①本日の例会は臨時総会、過去の三島西RCを知る例会で遠藤正幸さんの卓話です。
- ②次回例会は11月5日(日)10:30より楽寿園で清掃を行います。
- ③横溝豊君ですが、10月度理事会をもって退会といたします。



2023~2024年度  
国際ロータリー会長  
ゴードンR.マッキナリー

世界に希望を生み出そう

## スマイルボックス

- ◆ 柴崎君、三島市のグリーンカーテンコンテストで市長賞をいただきました。暑さの中ガンバリました。温暖化防止に協力しました。皆さんも挑戦してみてください。
- ◆ 古屋君、柴崎さん、グリーンカーテンコンテスト市長賞おめでとうございます。
- ◆ 室伏君、地区大会で入会50周年のお祝いを頂きました。90歳の先輩と混同して紹介されました。皆さんから「90歳にしては室伏さん若いね。」と冷やかされました。
- ◆ ゴルフ同好会、第2回平出年度ゴルフコンペを10月19日(木)裾野カンツリークラブにて開催しました。優勝 須田さん、準優勝 増田さん、3位 加藤さんでした。次回第3回は、11月19日(木)伊豆大仁カントリークラブにて開催します。

### 卓 話

#### 苗栗の苑について

遠藤正幸君



私は1986年10月に入会させていただきました。スポンサーは増田嘉一さんと飯田芳明さんでした。ちなみに会長は岩崎秀定さんと幹事は関本文彦さんでした。

苗栗の苑は入会2年目の会長が磯部昭明さん、幹事が原善兵衛さんの時 1987年10月18日に家族例会で植樹祭を実施しました。台湾の苗栗RCと姉妹クラブをしているということで苗栗の苑と命名されました。石碑はすでにお亡くなりになった久川三代作さんが石材業をされていて制作し寄贈していただきました。

当時国際ロータリー第2620地区では地球環境再生事業の一環で植林等を推進していました。三島西RCでは栗の植林や青年の森への桜の木の植林、チャーターメンバーであった小野金彌さんの呼びかけで富士山の植林や下刈りの奉仕作業をしてきました。

苗栗の苑の由来となった三島西RCと苗栗RCとの交流の経緯を紹介させていただきたいと思います。

両クラブの交流は、三島西RC創立10周年に始まりました。10周年の会長は、野田隆興さんで幹事は栗田正司さんでした。苗栗RCの会長は、謝文山先生でした。姉妹クラブの縁組は、岩崎守幸さん・室伏進さんの功績が大きいと聞いています。苗栗RCでは、謝錦晶さんでした。当時苗栗RCは多治見西RCや酒田東RCと姉妹クラブを締結しており、これ以上増やしたくないということでしたが、

室伏進さん(長泉RCに移籍)が粘り強く交渉した結果 三島西RC創立10周年の目玉として昭和57年4月16日締結式が行われました。経緯は10周年記念誌に詳しく載っています。

相互訪問を繰り返し、具体的な事業としては、昭和60年に書画の交換から始まりました。交換研修中学生事業は、三島西RC創立15周年の年、昭和62年3月23日から始まりました。三島市から3名を派遣しました。翌年63年2月に台湾から5名の中学生を派遣していただきました。当時の中学生交換は大変珍しかったと白井富美雄さんから聞いていました。平成元年には、この事業をIMの前身であるI・G・Fにスライドを使い紹介し、注目を集めたということです。この事業では、意義ある業績賞を頂いています。今までに台湾から男子41名・女子95名 計136名を受け入れし、日本から男子61名・女子41名 計102名を派遣しました。コロナで中断していましたが、よく白井さんが「交流事業は細く長くをモットーに継続しよう。中学生の交換研修事業があるからここまで苗栗RCとの交流が続けることが出来たんだよ」といっておられました。コロナも第5類になりました。今年度は受け入れて再スタートできそうです。私は、苗栗RCとの交流事業を通じて苗栗RCにも多くの友人ができました。同じ目的をもって事業を続けることは、三島西RCのまとまりにも大きく貢献したと思います。多くの先輩が築かれた歴史がある素晴らしい事業です。細く長くをモットーに継続していただきたいと思います。



### ポリオ撲滅募金活動



10月21日(土) イトーヨーカドー三島店

(週報担当:町野 暉)